

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	水産振興課(水産振興担当)			
事務事業名	ねむろ水産物普及推進事業	事業番号	12493	
重点プロジェクト	☒ 該当 ☐ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-5 安全・安心な水産物の供給
	施策目標	良質かつ安全・安心な水産物を全国へ安定供給するまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	全国の消費者
	対象者の今後の予想	増加傾向
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	①根室産水産物・水産加工品の普及宣伝 ②根室産水産物・水産加工品の販路拡大 ③消費者ニーズの把握 ④魚食の普及 ⑤低・未利用魚種の普及 ⑥その他、目的達成のために必要な事業	
意 図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	市と関係機関が連携し、全国でも有数の水揚げを誇る、根室の新鮮で良質な水産物を広く普及・宣伝することで、産地根室の知名度向上、販路拡大はもとより市中経済の活性化を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	PR・販売事業参加者	70人	114人	103人	68人	115人	134人	70人	70人
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R5予算		R5決算		R6予算	
				14,200		14,200		23,500	
内 訳	国道支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源								
人員(人工)				1.00		1.00		1.00	
職員人件費(=人員(人工)× 7,455 千円)				7,455		7,455		7,455	
総事業費(=事業費+職員人件費)				21,655		21,655		30,955	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				161		161			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☒ 検討していない
見直しの内容など	現状ではない。
今後の動向・市民ニーズなど	「ねむろ水産物普及推進協議会」が実施する事業について、来場者数・売上金額等において増加傾向にあり、根室産水産物の知名度・認知度が着実に向上している。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	これまで10数年に亘り、ねむろ水産物普及推進協議会の活動を通じて、根室産水産物のPR活動を展開してきた成果として、各種イベントにおいて来場者数・売上金額ともに増加傾向に推移しており、着実に「産地根室」の知名度が向上している。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか（民間、NPO等）	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 当協議会は漁協、水産協会、商工会議所をはじめとした根室市内の関連産業で組織されており、取組自体が地域全体に波及する内容となっていることを鑑みると、市が中心的役割を果たす必要がある。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 現状ではない。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 現状ではない。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 現状ではない。
カ. 受益者に負担をいただく（又は負担を見直す）可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☒ 既に負担がある 加盟団体及び個人会員より負担金を徴している。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続（ ☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替） ☐ 終期設定あり（R 年度末終了予定） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

令和6年9月

事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)		商工労働観光課(商工振興担当)			
事務事業名		首都圏PR出展事業		事業番号	12813
重点プロジェクト	☒ 該当 ☐ 非該当	評価時期	☐ 中間 ☐ 事後	事務区分	☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-5 安全・安心な水産物の供給
	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	関係団体、事業所、市民
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	根室の新鮮で良質な水産物の普及宣伝・販路拡大などを行う団体である「ねむろ水産物普及推進協議会」と連携し、首都圏において不特定多数の消費者に対し、根室の自然・観光・歴史の魅力を紹介するアトラクションの実施及び地場産品の対面販売等を行うことで、根室市の知名度向上による交流人口の増大や、地場産品の消費拡大を図るとともに、根室地域の経済の活性化に寄与することを目的とする。	
意 図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	事業実施により、首都圏の不特定多数の消費者に対し、地域の歴史・自然観光資源や地場産品の良さなど、根室市の魅力をPRすることができ、根室地域の経済の活性化に寄与することが期待される。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (R1)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	首都圏PR出展事業の開催回数(累計)	0回	-	0回	0回	1回	1回	1回	6回
2	首都圏PR出展事業の出展事業所数	0事業所	-	0事業所	0事業所	16事業所	15事業所	15事業所	20事業所
3									
4									
事業費（＝下記内訳計）				R5予算		R5決算		R6予算	
内 訳	国道支出金	※再掲(事業費は5-9で計上)							
	地方債								
	その他								
	一般財源								
人員(人工)									
職員人件費（＝人員(人工)× 7,455 千円）									
総事業費（＝事業費＋職員人件費）									
単位コスト実績値 1（＝総事業費÷成果実績値）									
単位コスト実績値 2（＝総事業費÷成果実績値）									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	令和5年度は日数を1日増やし3日間開催となったが、スポット広告等の利用やチラシ送付、積極的な声掛け等により、3日間で約17,300人ほどの来場者となった。今後一層の交流人口の増大や、地場産品の消費拡大を図る必要があるため、次回開催の際は、実施方法を含めた検討が必要。
今後の動向・市民ニーズなど	事業実施により、交流人口の増大や地場産品の認知度向上による消費拡大が期待され、地域経済の活性化に寄与することから、参加事業所を含めニーズは高い。

5 事務事業の評価

	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	事業実施により、交流人口の増大や地場産品の認知度向上による消費拡大が期待され、地域経済の活性化に寄与している。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	□可能 □一部可能 ■不可能 首都圏の消費者に対し根室市のネームブランドを浸透させるためには、関係団体と連携しながら市が主体となって根室市の魅力PRすべきである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	□ある ■一部ある □ない 実施計画に応じて、定期的に見直しをかける。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	□ある ■一部ある □ない 実施規模の見直し等によりコスト削減は可能。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	□ある □一部ある ■ない 他に類似する事業もなく統合の可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す)可能性はありますか	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (R 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了
--------	--

作成年月日

令和6年9月